


○ 世代別リーフレット（４種類）

- ・ 20歳代前半
「年金は老後だけじゃないんです！」
- ・ 20歳代後半～30歳代前半
「こんな時代だからこそ、確実にあなたの将来の財産になる公的年金を！」
- ・ 30歳代後半
「あなたの老後はだれが面倒をみるの？あなたにもしものことがあったら家族はどうなるの？」
- ・ 40歳以上
「老後の生活設計、公的年金なしでは考えられない。」



年金は
老後だけじゃ
ないんです！

<http://www.nenkin.go.jp>

国民年金は20歳以上の人はみんな加入する制度です。

そして、保険料をきちんと払うことは、将来の自分自身の老後をより豊かにすることにもなることをご存知でしたか。

●
また、国民年金は老後の保障だけとしか思っていないませんか？ スキー、野球、サッカーなどのスポーツの怪我や交通事故などで障害が残った場合にも、障害年金がもらえることを知っていましたか？

そのためには、保険料をきちんと納めていることが条件になります。

●
ただし、学生やまだ就職が決まっていなくて、とても保険料を払うことができないようなとき

には、

○学生の場合は、保険料を後払いできる「学生納付特例制度」があります。

○アルバイトなどで所得が低い人は、保険料を払わなくても済む「保険料免除制度」があります。

●
社会全体で世代間扶養を行う仕組みをとっている国民年金は、日本の経済社会が存続する限り、決してつぶれることはありません。

また、年金額の3分の1は国が補助しており、保険料はその全額が税金の控除対象になります。

●
公的年金には、その他有利な点が沢山あるんですよ。ご存知でしたか。

詳しくは、中を開いてご覧ください。

社会保険庁

国民年金はポイント！

国民年金は、将来に向けて たいへん安定し、 かつ、有利な制度である。

国民年金に加入し保険料を納付することは、**法律上の義務**です。

また、少なくとも25年間以上公的年金に加入して、保険料を納めていれば、老齢年金が一生、死ぬまでもらえることになります。

- 社会全体で世代間扶養を行う仕組みをとっている国民年金は、日本の経済社会が存続する限り、決して**つぶれることはありません**。
- 国民年金は本来損得の観点からみるべきものではありませんが、敢えて計算しても、平均的に長生きすれば、支払った保険料の総額より生涯受け取る年金額の合計の方が大きく、決して**払い損にはなっていません**。

国民年金には、保険料が 免除(納付猶予)になる 制度があります。

月々の13,300円はちょっときついなーというアナタに!

- 学生の場合は年間収入が約133万円以下の場合に、市町村に申請をすれば、保険料を後払いできる制度があります。ただし、申請は前年の所得を確認する必要があることから毎年度必要となります。(学生納付特例期間)
- アルバイトなどをしている人の場合で、収入が少ない場合には、市町村に申請をすれば、保険料の納付が免除される制度があります。(保険料免除期間)

もちろん、その両期間とも**障害年金の保障はバッチリ**されます。

ただし、満額の老齢年金を受けるためには、免除された期間にかかる保険料を追納(保険料を遡って納めること)することができますので、お金に余裕ができた時点で保険料を納めましょう。



国民年金には、障害年金もある。

国民年金には、老後の生活を保障する老齢年金だけでなく、スキー、野球、サッカーなどのスポーツの怪我や交通事故などで障害が残った場合には障害年金が支給されます。

これらの年金の支給を受けるためには、必ず国民年金に加入してきちんと保険料を納めていることが必要です。

ただし、学生納付特例期間又は保険料免除期間での怪我なども保障の対象となります。

国民年金は、物価の上昇を反映する、物価スライドがある。

国民年金は、物価の上昇に合わせて、年金額も引き上げられます。これは、法律にも明記されていて、国民年金だからできることなのです。

国民年金は、国が運営する制度。年金額の3分の1を国が補助！

国民年金制度は、長期的な視点に立ち、将来を見据えて、国が責任を持って運営しています。

そして、国民年金については年金額の3分の1を国が負担しています。

つまり、年金額の3分の1が、お得な勘定となっているのです。

国民年金の保険料は、全額、社会保険料控除の対象！

国民年金の保険料は、確定申告の際、全額社会保険料控除として認められています。

つまり、 $13,300円 \times 12ヶ月 = 159,600円$ が対象となるのです。

このメリットを受けるためには、保険料を納めることが前提となります。国民年金への加入と保険料納付は法律で義務づけられています。

同年代の方でやはり年金を買ってない方がおるわけですよ。そういう方々のことを思いますとね、やはりその後になって、**収入はそうはありません**のですね。そしてやはり若いとき、年金を積み立てて、いま買えるようになったことは**有難いな**と実感しています。

(新潟県／相田恒雄さん)

少子高齢社会だから、若い人たちは、保険料を掛けるときは苦しいかもしれないけど、**「掛けてあるんだ。」**というひとつの**安心感**って、あるんじゃないですかね。それに、実際に、**年金を買ったときの楽しみ**というのは、格別ですからねえ。

(愛知県／紅谷安彦さん)

事故に逢い、大きな障害が残ったあとは、将来への不安がつのるばかりで、眠れない日が続いたけれど、**障害基礎年金**を受けられるようになったほっとしました。何かひとつでも**頼れるもの**があると、もう一度人生頑張れるかなという気になるのですよ。

(兵庫県／Aさん)

先輩たちは語る

私たちが年金を貰えるのも**若い世代**が掛けてくれるお陰と思うから、20歳と21歳の孫には「掛け金、しっかり掛けといてな。」と言っんですね。年金は、自分がやったことに対してのお返しだから、孫にも十分に務めを果たしてほしいなと思います。

(香川県／宮崎富子さん)

国の年金というのは、いくら利回りが悪くたってですね、**年金額を減らす**なんていうことはありませんし、**終身保障**して頂けるし、インフラになった場合には、**物価スライド**をして頂けると、非常に有難い制度だなーと、いっばうに思ってますけどね。

(東京都／井内美喜夫さん)

年金は**生活必需品**じゃないですか。なかつたら生活できないから、みんな無理しても若いとき掛けてたんですよね。これからは、自分で自分のことをやっていかなくちゃならないんですから、**納めることは納めて**いかなかつたら、大変だと思いますよ。

(宮城県／渡邊あつたか)



こんな時代
だからこそ、
確実に
あなたの
将来の財産
になる
公的年金を！

<http://www.nenkin.go.jp>

国民年金は社会全体で世代間扶養を行う仕組みをとっているものであり、本来は損得の観点から見るべきものではありませんが、敢えて計算しても、平均的に長生きすれば、支払った保険料の総額より生涯受け取る年金額の合計の方が大きく、決して払い損にはなっていません。

また、国民年金は国が責任をもって運営しているもので、日本の経済社会が存続する限り、決してつぶれることはありません。

さらに、様々な経済変動がある中で、私的年金には約束できない給付も保障しています。そのひとつが、いつの時代でも安定、安心のある生活を保障する物価スライド制です。

公的年金は老後生活の基本的な部分を支え、

個人年金は個人の自由な選択による上乗せ保障という役割分担になっています。また、公的年金は老後保障と同時に自分が万が一のときにも生活を保障する障害年金・遺族年金もあります。

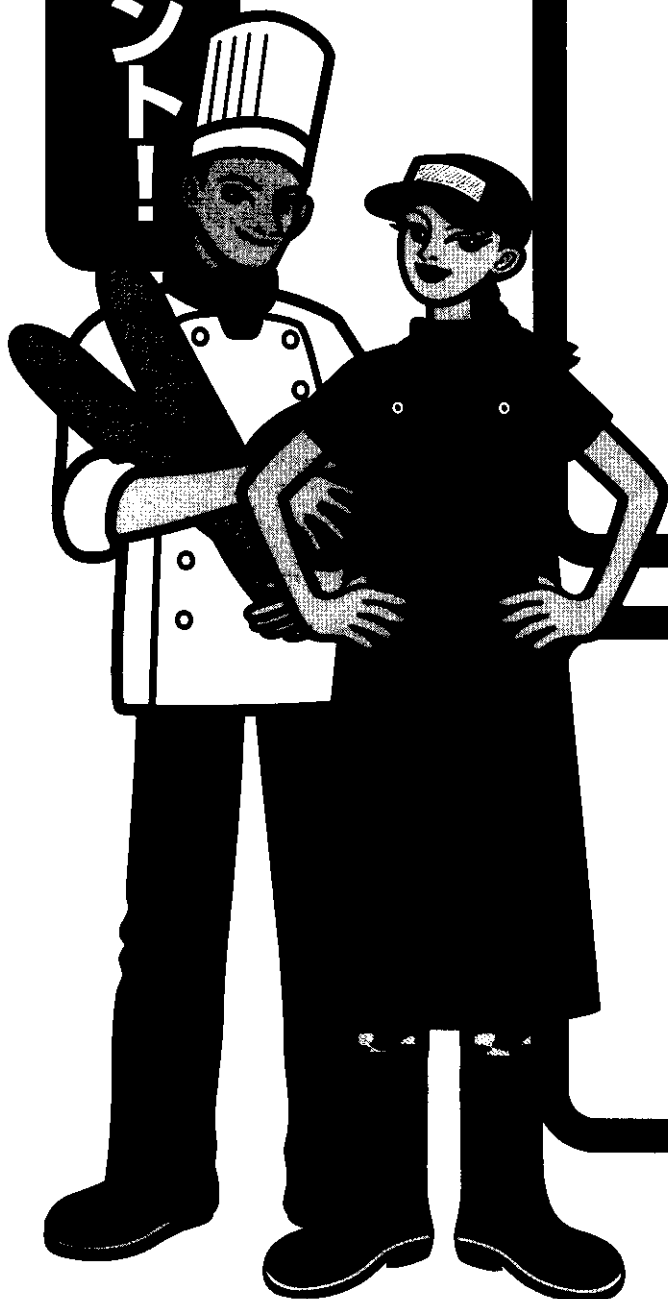
国民年金は年金を受けるときまでに、最低25年の保険料納付期間等が必要となります。この納付期間が長ければ長いほど、年金額が増えることとなります。逆に、保険料納付期間等が25年に満たない場合は、年金を受ける権利を捨てることになるのです。

せっかくのあなたの財産を保険料の未納で失うことのないようしっかり保険料を納めましょう。公的年金には、その他有利な点が沢山あるんです。

詳しくは、中を開いてご覧ください。

社会保険庁

国民年金は、**ここ**がポイント！



**国民年金は、将来に向けて
たいへん安定し、
かつ、有利な制度である。**

- 社会全体で世代間扶養を行う仕組みをとっている国民年金は、日本の経済社会が存続する限り、決して**つぶれることはありません**。
- 国民年金は本来損得の観点からみるべきものではありませんが、敢えて計算しても、平均的に長生きすれば、支払った保険料の総額より生涯受け取る年金額の合計の方が大きく、決して**払い損にはなっていません**。

**国民年金は、
国が運営する制度。
年金額の3分の1を
国が補助！**

国民年金制度は、長期的な視点に立ち、将来を見据えて、国が責任を持って運営しています。

そして、国民年金については、年金額の3分の1が国から補助されています。つまり、年金額の3分の1が、お得な勘定となっているのです。

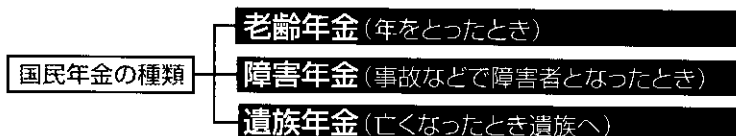
**国民年金は、
物価の上昇を反映する、
物価スライドがある。**

国民年金は、物価の上昇に合わせて、年金額も引き上げられます。これは、法律にも明記されていて、国民年金だからできることなのです。

このメリットを受けけるためには、保険料を納めることが前提となります。
国民年金への加入と保険料納付は法律で義務づけられています。

国民年金には、 障害年金・遺族年金もある。

国民年金には、老後の生活を保障する老齢年金だけでなく、病気や事故で障害が残ったときの障害年金や、一家の働き手が亡くなったときの遺族年金などもあります。



ただし、これらの年金の支給を受けるためには、必ず国民年金制度に加入してきちんと保険料を納めている必要があります。

国民年金は、終身保障される。

年金は、生涯にわたって受けることができます。

国民年金は、働く世代が高齢者の世代を支えるしくみ。現在現役のあなたが高齢者世代を支え、将来高齢者になったあなたをそのときの現役世代が支えます。国民年金の空洞化という指摘もありますが全国民(20歳~59歳)で見ると未加入・未納者の割合は**5%程度**にすぎません。

国民年金の保険料は、全額、 社会保険料控除の対象!

国民年金の保険料は、確定申告の際、全額社会保険料控除として認められています。

つまり、 $13,300円 \times 12ヶ月 = 159,600円$ が対象となるのです。

同年代の方でやはり年金を貰ってない方がおるわけですよ。そういう方々のことを思いますとね、やはり老後になって、**収入はそうはありません**のですね。そしてやはり若いとき、年金を積み立てて、いま買えるようになったことは**有難いな**と実感しています。

(新潟県／相田恒雄さん)

年金は、**定期的に決まった額**が入ってきますから、生活の心配をしなくていいんです。そして子供は、それなりに生活していますから、今のところホントに生活の不安が**ない**のがありますね。また、**自分名義**のお金って**いばって**使えるんですね。

(福岡県／中島ユミ子さん)

先輩たちは語る

夫が亡くなったときはさすがに途方に暮れましたが、夫が20歳からずっと国民年金を納め続けてくれたおかげで**遺族基礎年金**の給付を受けることができました。決まった日に**確実に**振り込まれるお金はありがたく、また、家族をいつも大切にしてくれた夫からのメッセージのように思えます。

(東京都／Bさん)

国の年金というのは、いくら利回りが悪くたってですね、年金額を減らすなんていうことは**ありませんし、終身保障**して頂けるし、インフラになった場合には、**物価スライド**をして頂けると、非常に有難い制度だなーと、いふふうに思ってますけどね。

(東京都／井内美喜夫さん)

事故に逢い、大きな障害が残ったあとは、将来への不安がつるばかりで、眠れない日が続いたけれど、**障害基礎年金**を受けられるようになったほっとしました。何かひとつでも**頼れるもの**があると、もう一度人生頑張れるかなという気になるんですよ。

(兵庫県／Aさん)

年金は**生活必需品**じゃないですか。なかったら生活できないから、みんな無理しても若いとき掛けてたんですよ。これからは、自分で自分のことをやっていかなくちゃならないんですから、**納める**というのは**納めて**いかなかったら、大変だと思えますよ。

(宮城県／渡邊あいやん)